

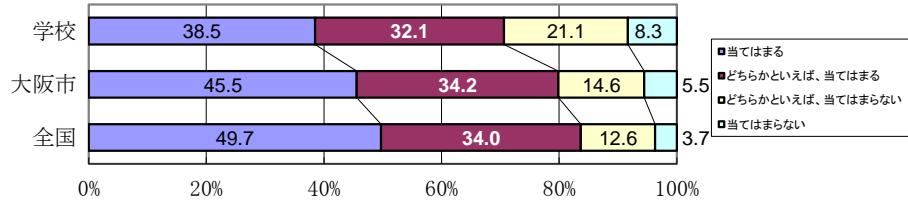
学びの充実に向けて(1)

【結果の概要】

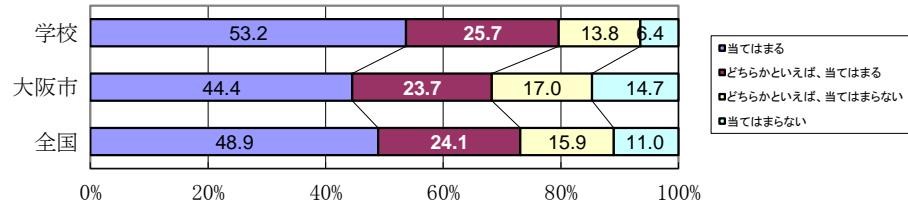
「5年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」の質問で、「当てはまる」と回答した割合は、大阪市・全国平均より低い。しかし、「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問では、「当てはまる」とする回答の割合が大阪市・全国平均よりも高くなっている。読書については、約8割の子どもたちが「好き」と回答しており、大阪市・全国平均を上回っている。しかし、これに関連する質問の中で「休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」の質問に対して、「ほとんど、または、全く行かない」と回答した割合が約45%と、全国平均の約30%を大きく上回る結果となっている。

| 質問番号 | 質問事項 |
|------|------|
|------|------|

| 42 |
|--|
| 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか |



| 53 |
|----------|
| 読書は好きですか |



| 48 |
|---|
| 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか |



【成果と課題】

「朝の読書タイム」「図書ボランティアの皆さんによる読み聞かせ」「図書室開放」等により、読書活動を推進している。「読書が好き」という回答の割合が大阪市・全国平均よりも高くなっているものの、関連する質問で「授業以外で一日当たりの読書時間が全くない」という回答や「休みの日に家や図書館で本を読む時間がほとんどない」という回答が高くなっていることから、日常生活の中での読書について意識を高めていく必要がある。5年生までに受けた授業について、「自分の考えを発表する」「友達との間で話し合う」「授業の最後に学習内容を振り返る」といった活動をよく行ったという回答が、大阪市・全国平均に比べ低くなっている。「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意」とする回答も、大阪市・全国平均に比べ低くなっている。

【今後の取組】

- 自分の考えを発表する場面や、グループで互いに考えを伝え合う場面等を取り入れた授業づくりをさらに追究していく。
- 「読書タイム」「図書ボランティア」等による読書活動をさらに充実していく。
- 学校図書館の整備に努め、ディスプレーの工夫を行うなど、読書意欲の向上に努める。
- 家庭と連携し、日常生活の中で読書に親しむ習慣を身につけさせるようにしていく。